福島ロボットテストフィールド研究棟「研究室」
第三次入居者詳細情報

FUKUSIMA ROBOT TEST FIELD FUKUSIMA ROBOT TEST FIELD FUKUSIMA ROBOT TEST FIELD FUKUSIMA ROBOT TEST FIELD FIELD FUKUSIMA ROBOT TEST FIELD FIELD FUKUSIMA ROBOT TEST FIELD FIELD FUKUSIMA ROBOT TEST FIELD FIELD FUKUSIMA ROBOT TEST FIELD

事業者名（五十音順　カッコ内は本拠所在地）	事　業　名
會澤高圧コンクリート株式会社 （北海道苫小牧市）	1　産業用ハイブリット電動ドローンを使ったインフラ構造物の測量・点検・補修システムの開発 2　産業用ハイブリット電動ドローンを使ったドローンポート（給油中継地点）の開発と完全自律自動運航システムの開発 3　コンクリート３Ｄプリンタの一時休止機構及び圧送するコンクリート性状のAIによる画像診断及び性状制御システムの開発。 4　水害・洪水防護擁壁システム「AGGERES」の性能評価及び国内に適した施工法の研究開発 5　農業用水路自動給水システムの研究開発
株式会社先端力学シミュレーション研究所 （埼玉県和光市）	シミュレーションを活用したドローン等の主要部品設計と開発支援
綜合警備保障株式会社 （東京都港区）	危険箇所における飛行や警備活用を目的とした各種ドローンの開発および実証実験
高野建設株式会社 （宮城県仙台市）	教育用ロボットを使用した子ども向け体験プログラムの開発
株式会社メルティンMMI （東京都中央区）	廃炉環境向けアバターロボット（遠隔操作ロボット）開発事業
株式会社リビングロボット （福島県伊達市）	パートナーロボットの社会実装

２０２号室

會澤高圧コンクリート株式会社

https://www.aizawa-group.co.jp

『RTFでの事業内容と目指すビジョン』

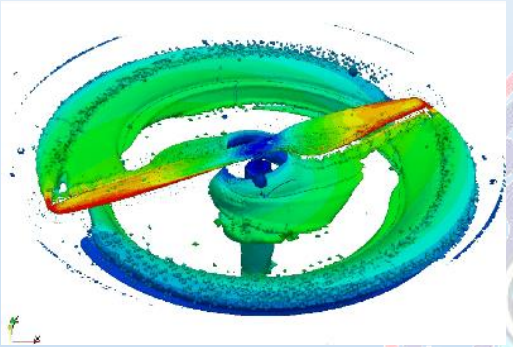
　自己治癒コンクリートに代表される独自の先端素材技術と、ハイスペックなエンジンドローン並びにコンクリート３Dプリンター等のロボティクスを融合し、完全自律型のインフラメンテ事業の構築を目指しています。素材とテックの掛け算をテコに、Concrete as a Serviceという新たな事業価値を創造し、併せて持続可能な社会の実現にも貢献して参ります。

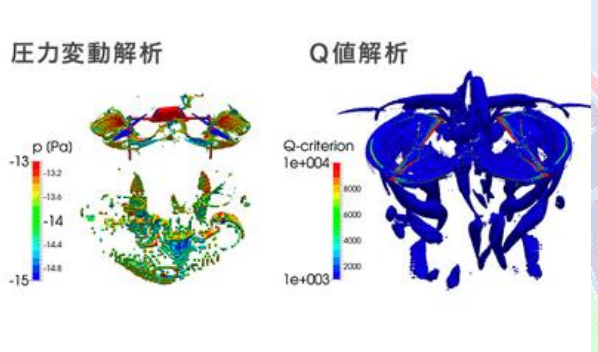
問合せ先TEL：０１１-７２３-６６００
担当：データ戦略本部　嘉津山　公一（かつやま こういち）

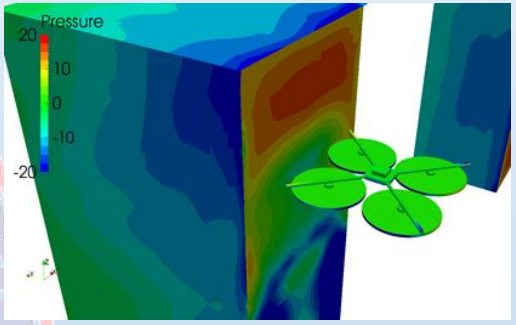
２０４号室

株式会社先端力学シミュレーション研究所

https://www.astom.co.jp







『RTFでの事業内容と目指すビジョン』

シミュレーション技術を活用し、ドローンの機体デザイン、設計、試作、性能評価、実証試験の支援やAIやセンサーを利用した衝突回避など、自動車分野で培った技術・ノウハウを活かして研究・開発を進めています。

今後、有人地帯での目視外飛行（第三者上空）を実現させるためには、「高い安全性と信頼性の機体」が必要であり、「より人口密度の高い地域」でドローンを飛行させるためには、最大の騒音源であるプロペラの低騒音化を実現することが非常に重要です。

当社は、ドローン用プロペラの性能向上や静音化を得意としており、ドローン・ロボットの研究・開発においても、構造解析、流体解析、振動解析等の経験が活かせるものと考えています。

問合せ先TEL：０８０-９３５２-６０２９　　担当：大川 由夫

１０２号室

綜合警備保障株式会社

https://www.alsok.co.jp

『RTFでの事業内容と目指すビジョン』

危険箇所や複雑環境下における飛行と警備活用を目的とし、各種ドローンの開発および実証実験を行います。ALSOKが提供する「監視センター」「警備システム」「警備ロボット」と本ドローンを組み合わせることで、多様化する「安全・安心」へのニーズに応えるサービスを提供して参ります。

【ALSOKが目指すドローン活用】

①警備員の代わりにドローンが巡回コースを飛行することで、警備ポストの削減と抑止効果を期待できる。

②災害発生時にドローンがいち早く急行して周囲を撮影し、遠隔の監視センターから災害状況を把握できる。

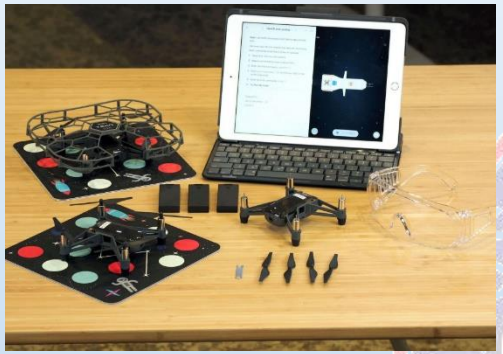
③複雑環境下でも安全に飛行できるドローンを用いて、危険性の高い箇所での点検作業を代替できる。

問合せ先TEL：０３-３４０２-７６０６　　担当：開発企画部　田中 麗子

２０３号室

高野建設株式会社

http://takanocorp.jp



『RTFでの事業内容と目指すビジョン』

・小・中・高校生に向けた教育用のドローンやロボットを制御するプログラミングの体験会・授業実践を行っています。教育用ロボットを使った体験プログラムの開発には、実際にロボットを動かす場所の確保が不可欠で、様々な施設があるRTFは最適だと考えています。開発した体験会プログラムは、ロボットテストフィールドに訪れる小・中・高校生に体験してもらい先端技術に触れる場を作ります。

・RTFのインフラ点検・災害対応エリア等の屋内外施設を活用し、ドローン点検技術を開発するものである。点検技術をノウハウ化し、弊ドローンスクールのカリキュラムにすることでインフラ点検技術者の確保に寄与していきます。

問合せ先TEL：０２２-２４８-３３５１　　担当：渡邉 香月

１０１号室

株式会社メルティンMMI

https://www.meltin.jp

『RTFでの事業内容と目指すビジョン』

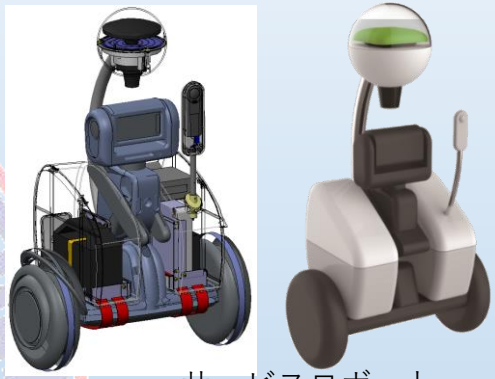
遠隔操作により様々な作業を可能とするアバターロボット「MELTANT」シリーズの開発と社会実装を行っています。ヒトの手が持つ器用さ、柔軟性、スピード、強度といった特徴を同等のサイズ・重量で実現するロボットハンドをコア技術としています。地域企業と連携し、廃炉作業を含む様々な危険環境・特殊環境を想定した機能開発と作業検証を実施し、移動能力、環境対応、通信システム、パワー・速度等を段階的に高めていきます。誰もが身体能力に関わらず、安全な環境から重労働や危険作業に参加できる社会を目指すと共に、Made in 福島のテクノロジーによる未来の廃炉作業のかたちを実現して参ります。

問合せ先TEL： ０３-６４２７-６３９７　　担当：足立 奈菜子

２０１号室

株式会社リビングロボット
Living Robot Inc.　　https://livingrobot.co.jp

©小林和史／講談社
歩くメカトロウィーゴ



サービスロボット

『RTFでの事業内容と目指すビジョン』

RTFでの事業内容

1) ロボットプログラミング学習システムの普及
浜通り地区へのロボットプログラミング学習システム導入を目指します。ワークショップ等の開催による導入推進、指導者の育成、メンテナンスサービスなどの事業立上げの拠点を目指します。

2) サービスロボットの浜通り地域での活用の検証
サービスロボットの走破性をロボットテストフィールドの市街地や瓦礫・土砂崩落フィールドにて検証し、案内に加えて災害観測や警備への実用化検証を実施します。

目指すビジョン

生きるロボット「歩くメカトロウィーゴ」および活かすロボット「サービスロボット」を通して、パートナーロボットの浜通りにおける社会実装を目指します。

問合せ先TEL：０７０-２６５３-１３７６　　担当：徳永浩二